

取扱説明書

M形埋込み形照明器具

保管用



調光 LEDダウンライト

(天井埋込み専用・一般屋内用)

ご使用になれる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方や光源ユニットの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品名	光源	定格電圧(V)	周波数(Hz)	消費電力(W)	入力電流(A)
DD-3343-N	昼白色相当 (5000K)	100/200	50/60	52.8	0.57/0.29
DD-3343-W	白色相当 (4000K)				
DD-3343-L	電球色相当 (3000K)				

※1回路当りの最大接続台数（調光未接続時）は14台（100V入力時）、28台（200V入力時）までです。

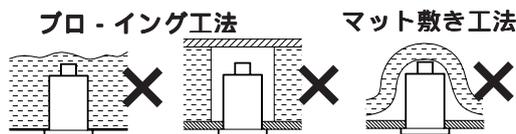
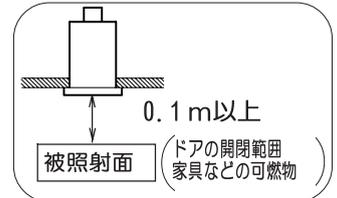
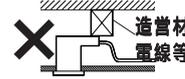
この取扱説明書のマークについて

- 警告** 説明書中の「警告」は人身事故の原因となる危険を示します。
- 注意** 説明書中の「注意」は器具破損の原因となる危険を示します。
- このマークのついている説明文は必ず守ってください。
- このマークのついている説明文は行ってはいけない禁止事項です。

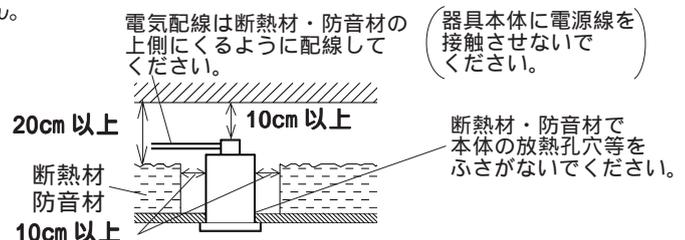
施工上の注意

⚠ 警告

- 取付方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「けが」の原因となります。
- 端子に差し込むケーブルの芯線は必ずVVF ϕ 1.6 または ϕ 2.0 の単線のケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。
- 器具の開口面と照射する物（被照射面）との距離は0.1m以上離して設置してください。
★被照射物の変形や、焼損事故の原因となります。
- 器具の取り付け部以外の外郭（可動範囲含む）が、天井内の造営材や空調ダクトなどの設備または屋内配線の電線ケーブルに触れないように施工してください。
異常過熱による焼損事故の原因となります。
- LED光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
十分ご注意ください。
- 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用しないでください。
漏電、感電事故の原因となります。
- 天井埋め込み専用器具です。天井以外の場所には取り付けしないでください。
異常加熱による事故の原因となります。
- 住宅の断熱施工天井には使用できません。
フローリング工法・マット敷き工法の天井には使用できません。
プロ・イング工法・マット敷き工法の天井に取り付けると異常過熱し、火災の原因となります。



—住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合の施工方法—



- 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
火災や感電事故の原因となります。

⚠ 注意

- 定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
定格電圧以外で使用した場合、器具寿命が短くなることがあります。
- この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
過熱して発煙や発火、ユニット寿命短縮の原因となります。
- 調光器（ライトコントロール）と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用下さい。（調光器適合表を参照して下さい）
不良点灯や調光器、照明器具の故障また火災の原因となります。

使用上の注意

警告

- ❗ 光源 LED を長時間直視しないでください。
目を傷めることがあります十分ご注意ください。
- ❗ 必ず指定された光源ユニットを使用してください。(光源ユニット交換可能タイプのみ)
不適合な光源ユニットを使用すると異常過熱によって焼損事故の原因となります。
そのまま無理に使用を続けると、器具の故障や火災の原因となります。
- ❗ 濡れた手で触らないでください。
感電の原因となります。
- ❗ 器具の下面を布などで覆わないでください。
過熱して、発煙や発火の原因となります。
- ⊘ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
火災や感電事故の原因となります。
- ⊘ ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
感電事故の原因となります。

注意

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8~10年後には外観に異常が無くても内部劣化が進んでおります。点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃以下、年間3000時間点灯です。(JIS C8105-1 解説による) 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

- ⊘ 温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。
- ⊘ 点灯中や消灯直後の光源ユニット、器具内には触らないでください。
火傷の原因となります。
- 同名商品商品の LED 光源でも色・明るさに多少のバラつきがある場合があります。予めご了承下さい。
- 照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承下さい。
- 他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予めご了承下さい。
- ⊘ カバー・フードのある器具でヒビの入ったカバーや欠けたカバーは使用しないでください。
カバーの破損、落下の原因となります。
- ⊘ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

調光器適合表

調光器(ライトコントロール)と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用下さい。
不適合な調光器は故障また火災の原因となります。

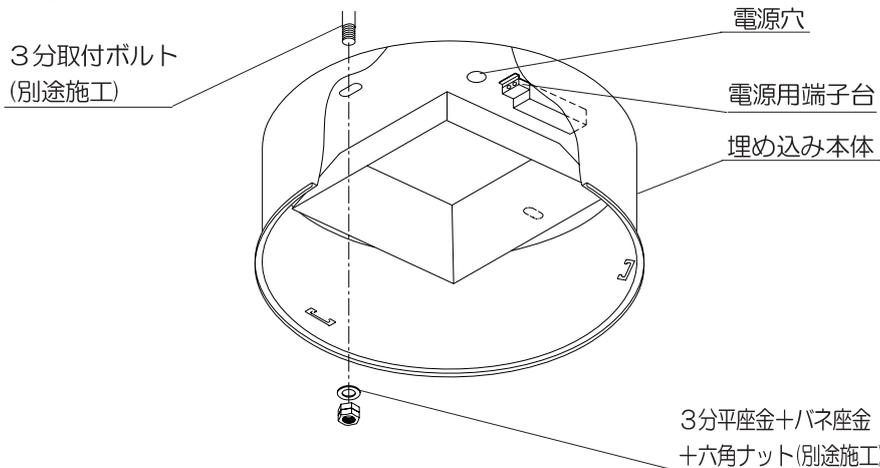
メーカー名	調光器名称	調光器品番	定格電圧	1回路当たりの最大接続数	インターフェース
パナソニック	ライトコントロール信号線式	NQ20355・NQ20356	100V	10台 ※1	
		NQ21585Z・NQ21595Z	100V/200V	10台(100V)/20台(200V) ※1	不要
		NQ21582Z・NQ21592Z			
LUTRON	グラフィックアイ 3000	GRX-310*-T-JA-	100V/200V	11台(100V)/22台(200V) ※2	GRX-PWM ※3
	グラフィックアイ QS	QSGR-*PJJA- ※4			

※1：調光器1台に対して ※2：インターフェース1台に対して ※3：インターフェースは1ゾーンに1台を必ず接続して下さい。
※4：フェースプレート別売
★他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予めご了承ください。
★調光器を使用して電源操作を行うと一瞬明るくなる場合がありますが、故障等ではありません。

各部の名称

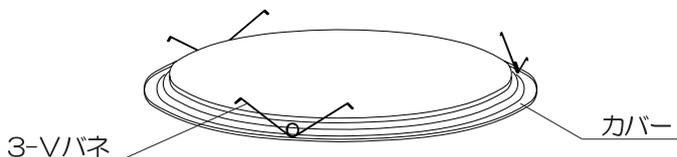
(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

【器具構成図】



【付属品】

- 取扱説明書(本書) 1枚
- 保証とアフターサービスについて(別紙) 1枚



取り付け場所の確認

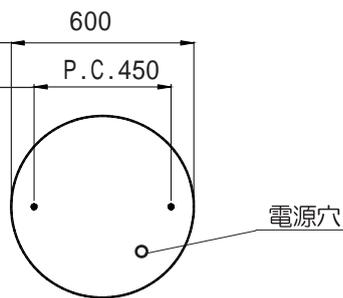
警告 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

●器具を取り付ける前に

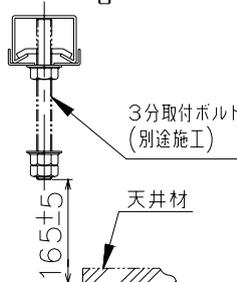
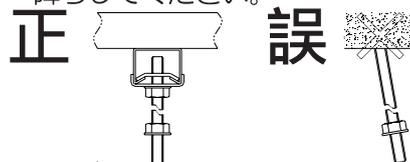
1. 天井切り込み穴および取付ボルト位置を確認してください。

天井切り込み穴寸法

ボルトピッチ



2. 取付ボルトはレスウエイ等を使用して必ず垂直に降ろしてください。



3. 取付ボルトの長さを調節してください。
 天井面からボルトの先端まで **165 ± 5 mm** です。

取り付け方

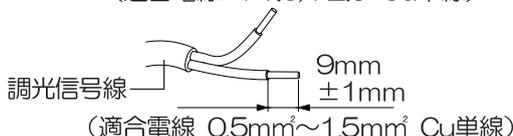
注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

警告 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

取り付けの前に あらかじめカバーをはずしておきます。

1. 電源線の被覆を剥きます。

電源線を電源用端子台のゲージ (12mm) に合わせて剥きます。
 ※調光信号線を調光端子台のゲージ (9mm) に合わせて剥きます。

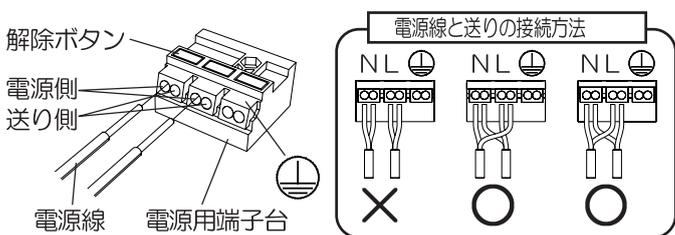


2. 埋め込み本体を天井に取り付けます。

- ①電源線を埋め込み本体に引き込みます。
- ②埋め込み本体を3分取付ボルト (別途) に、3分平座金+ハネ座金+六角ナット (別途施工) を使って確実に取り付けます。

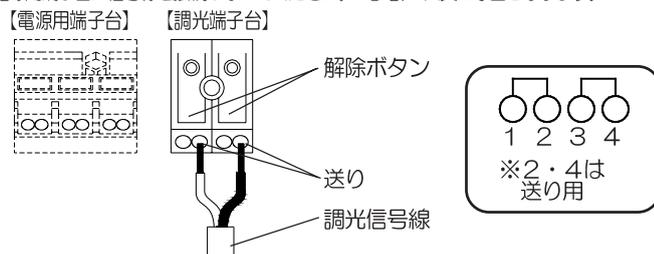
3. 電源線を接続します。

電源線を、電源線差し込み穴に差し込みます。
 ※電源線をはずす場合は、ドライバーの先で解除ボタンを真っ直ぐ押しとすずれます。



【調光接続の場合】

調光信号線を調光端子台の奥まで差し込んでください。
 ※調光端子台へ差し込む際、芯線部を曲げたり、ねじった状態で差し込まないでください。
 ※電源用端子台に信号線を接続しないでください。感電、火災の原因となります。



警告 電源端子に差し込むケーブルは、必ずWFΦ1.6またはΦ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
 指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。

器具には、D種 (第3種) 接地工事を行ってください。(AC100Vで非調光時の場合は除く)
アースが不完全な場合は、火災や感電事故の原因となります。

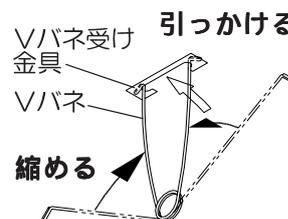
4. 灯具ユニットを埋め込み本体にセットします。

①Vバネを両側から指でつまみ、Vバネ受け金具に引っかけます。

注意 Vバネは相当な強度をもっています。扱いは十分注意してください。
Vバネの戻りによる「けが」や、器具破損の原因となります。

②灯具ユニットのカバー枠を上押し上げ、埋め込み本体に固定してください。

注意 灯具ユニットを押し込むとき、アクリルカバーを押ししないでください。
反りや破損の原因となります。



スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

お手入れについて

⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

1年に1回はお手入れを行い異常が無いか点検をして下さい。

また3年に1回は専門業者・有資格者による点検を依頼して下さい。

点検を行わずに長時間使用し続けると、まれに発煙・発火・感電に至る恐れがあります。

こまめに清掃を：照明器具が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。

定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠ 注意

! ●お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
感電事故の原因となります。

⊘ ●器具は乱暴に扱わないでください。
器具の故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。
カバーの破損、落下の原因となります。

⊘ ●スイッチを切った直後の光源ユニットは熱くなっています。
絶対に素手で触らないでください。
火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。
感電事故の原因となります。



光源ユニットについて

LEDユニットの光源寿命(※)は40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)

※光源寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

⚠ 注意 ●この器具は、構造上お客様が光源ユニットを交換することができません。
メンテナンスの際は、別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。

お手入れのしかた

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の品名**(器具本体のラベルでご確認ください)、**故障の状況**、**ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。